

リオデジャネイロオリンピック

団体戦の試合方式

団体戦はシングルス (S) 4 試合とダブルス (W) 1 試合が、S - S - W - S - S の順で行われ、先に3勝したチームが勝ちあがります。各試合は、1 1 日まで行われていた男女シングルス (7ゲームマッチ) とは異なり、5ゲームマッチです。3ゲーム先取すると1勝です。

まず、それぞれのチームが以下の表の『A B C』と『X Y Z』のどちらの順番で選手を出場させるかをトス (くじ) によって決めます。

種別		一方 (A B C型) チーム	他方 (X Y Z型) チーム
①	シングルス	A	X
②	シングルス	B	Y
③	ダブルス	A+C (またはB+C)	X+Z (またはY+Z)
④	シングルス	B (③がB+Cの場合はA)	Z
⑤	シングルス	C	Y (③がY+Zの場合はX)

試合前のオーダー交換では①番②番のシングルスのみが提出され、②番のシングルスが終わった時点で各チームはダブルスのペアを決定、提出します。ダブルスのペアが決定した時点で、④番と⑤番の対戦カードは上記表に従って自動的に決定することになります。

第5試合まで戦った場合には、3名の選手がそれぞれ2回ずつプレーすることになります。ダブルスペアをどのように決めるかに監督の采配が表われ、試合の流れを左右する重要なポイントとなります。